

ドクターの茶飲み話

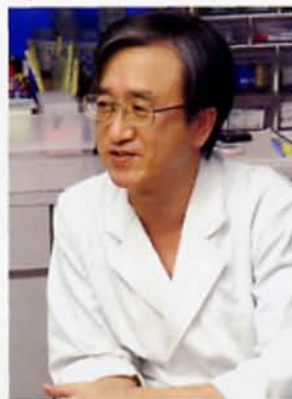
環境の悪化により増え続けている花粉症は、アレルギー体質そのものを改善して治す。

耳鼻咽喉科クリニック 院長 笠井 創先生 第一回



人間の五感

のうち、聴覚、嗅覚、味覚という、3つの感覚器官をカバールしているのが、耳鼻咽喉科です。



れ異なります。ペニシリンやインスリンなど、薬用に使われる物質に対してアレルギーを起こす人もいます。小麦、卵白、果物など特定の食物がアレルギーという人もいます。一般に、食物アレルギーは幼少期に多く見られますが、成人してからもアレルギー

集中して交換神経が緊張してくると、症状が治まるのが特徴です。それに対して、春のスキヤヒノキ、夏のカモガヤ、秋のブタクサなど植物の花粉に異常反応する、いわゆる花粉症は、原因物質である花粉が空气中に飛散している時期に起こる、季節性アレルギー性鼻炎といえることができます。

職業の場合は、社会生活を送るうえで大きな不都合を抱えることになりません。アレルギー性鼻炎は、アレルギーを完全にシャットアウトすれば、症状は起きませんが、それは現実問題として不可能といえます。反対に、アレルギーがある限り、アレルギー性鼻炎が「治る」ということはなく、治療はつらい症状を軽減する目的で行われています。

で、そういう体質の人は、どんどん抗体を作るアレルギーを増やしていく可能性も否定できません。体質改善には、時間も根気もかなり必要ですが、アレルギー体質そのものを改善していくことも重要ではないでしょうか。

しかし、すべての人の体質改善に確実に効果が上がる薬はみつかりません。それぞれの人の体や症状の程度にあった薬、市販薬や手頃な価格であれば民間療法なども含めて、試してみるとよいでしょう。

今回は、近年、環境の悪化にともなう、重い症状に悩む方々が増えている花粉症・アレルギー性鼻炎について、お話ししたいと思います。

卵白、果物など特定の食物がアレルギーという人もいます。一般に、食物アレルギーは幼少期に多く見られますが、成人してからもアレルギー

ちなみに、アレルギーは血液検査などで特定することができますが、いくらか調べても原因物質がわからないケースもあります。これは温度の変化に鼻の粘膜が過敏に反応して起きる血管運動性鼻炎と呼ばれるもので、季節の変わり目などにアレルギー性鼻炎と同じ症状が現れます。

抗アレルギー剤を前もって飲んでおく、予防法も効果的です。アレルギー体質は遺伝によるもの

かさいはじむ、プロフィール
昭和58年、千葉大学医学部大学院終了、医学博士。国保君津中央病院 国立がんセンター病院を経て、横須賀共済病院耳鼻咽喉科医長となり、千葉大学医学部非常勤講師を兼任。平成2年、横浜に耳鼻咽喉科気管食道科笠井クリニック開設。平成11年に笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療所を開設。
<http://www.linkclub.or.jp/~entkasai/>

花粉の飛び散る春から秋にかけて大流行し人々を苦しめる花粉症は季節性アレルギー性鼻炎です。通常、健康な体にウィルスや細菌などが侵入すると、体内に抗体

もアレルギーを体内に入れてしまい、ショック症状を起こさないよう、十分な注意が必要です。

原因物質をシャットアウトできないならば、発想を転換して

アレルギー体質を改善しよう

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

が作られ、無毒化しようとはします。アレルギー体質の人の体では、この反応が、抗体をつくる必要のない物質に対しても起こってしまうのです。この過剰反応を起こす原因物質(アレルギー)には、多種多様な

鼻の粘膜を刺激し、クシャミや鼻水、鼻づまりを起こすのが、アレルギー性鼻炎です。このうち、室内のほこり(ハウスダスト)やダニなどがアレルギーの場合、季節に関係なく一年

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

アレルギーを起こすかは、人それぞれ

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い

アレルギー性鼻炎の場合、気管支ぜんそくなどを引き起こさない限り命に関わる病ではありません。ただ、仕事に差し支えるほど症状が重かったり、人前に出ることの多い